

ふるさと
満州天理村「生疏里」の記憶
天理教と七三一部隊
エイミー・ツジモト 著
定価 2,000 円+税 / A5 判 並製 / ISBN978-4-908073-48-9 C0021



4月7日(土) 朝日新聞書評欄で
寺尾紗穂さんに高評いただきました。



米国出身の国際ジャーナリスト。日系移民の歴史や捕虜問題などを取材。著書に『消えた遺骨』。

ふるさと
満州天理村「生疏里」の記憶 天理教と七三一部隊

エイミー・ツジモト(著)

えにし書房 2160円

証言が問いかける、宗教と個人

奈良の天理市に拠点を持つ天理教は戦前、旧満州に開拓団を送り込んだ。他の開拓団でもよく聞くように、満州人の家屋と畑をわずかな金で手放させ、そこに天理教の人々が移り住んだ。その村と日本軍の七三一部隊が隣接していたという。細菌戦研究のために人体実験を行っていた悪名高い部隊である。その研究棟建設時から天理村の男たちが労働力として借り出されていた。

本書では親子二代で、父親は建設に従事、息子は証人として殺害された「マルタ(人体実験用の捕虜はこう呼ばれた)」を数日にわたる焼却し、建屋を爆破したという証言が登場する。さらに、協力を強いられた天理村自体が、研究棟を超えて試験的に周辺に撒かれたペスト菌の被害を受けていたことにも本書は言及する。ペスト菌拡散に使われることになるハツカネズミの飼育は、関東軍から天理村小学校に飼育依頼

「一見硬質な歴史本のように見えながら、証言者の痛切な思いが作品全体に血液のように巡っている。国家と宗教という問題のみならず、宗教と個人、「個人にとっての宗教」についても多くを問う意欲作である。」

評・寺尾 紗穂

音楽家 エッセイスト

雑誌や新聞などで続々と挙げてられています
じわじわ動いています! Amazon のカスタマーレビューでも高評価

直取引代行
トランスビュー

えにし書房の商品は、トランスビューの取扱で納品します。直接取引の条件はトランスビューの商品とすべて同じ(返品随時可)です。取次ルートの場合は八木書店経由(買切・返品不可)です。トランスビューとお取引がない書店様は小社にご連絡ください。ご注文は1冊からお気軽に!

貴店名

ご担当

『満州天理村
「生疏里」の記憶』

冊